

読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

赤磐市立高陽中の生徒が、地域の盆踊り会をPRする動画を制作しています。記事を読み、質問に答えましょう。

KOYO祭 来年は行こう！

高陽中（赤磐市上市）の生徒有志が、2017年に復活させた地域の盆踊り会「KOYO祭」のPR動画を制作している。新型コロナウイルスの影響で今夏の祭りが中止となったため、来年以降の開催を周知して集客につなげようと企画した。地元で伝わる「備前四ツ拍子」をにぎやかに踊る映像を盛り込み、本年度中にも動画サイトで公開する。（水野雅文）

赤磐・高陽中生有志 盆踊り会PR動画制作

盆踊り会は旧山陽町の夏の風物詩だったが、05年の4町合併による市制移行で旧町の行事を整理したのに伴い、同年で打ち切られた。その後、17年に3年生だった生徒たちが高齢者から当時を懐かしむ声を聞き、地元の盆踊り保存会などの協力で再開した。毎年8月に生徒らでつくる実行委員会が高陽中グラウンドで開催している。

動画はドラマ仕立てで、今年の夏祭りが軒並み中止となって残念がっていた生徒たちの前に「盆踊り博士」が登場する。盆踊り会の歴史や再開の経緯の説明を受け、生徒たちが来年の祭りに向けて浴衣姿で踊りを披露するという筋書きとなっている。今年1〜3年生28人が

今夏中止で奮起 浴衣姿で収録



「備前四ツ拍子」を収録する高陽中の生徒たち。赤磐市立中央公民館

実行委を結成し、絵コンテを作るなどして動画の内容を検討。撮影に向け、備前四ツ拍子保存会から指導を受けたり、映像制作会社が影で、高陽中のグラウン

ドや近くの中央公民館で備前四ツ拍子を踊る場面を収録した。11月中旬に撮影を終えて編集作業に入る予定で、完成後は動画サイト「ユーチューブ」で公開する。実行委員長の3年井上菜月さん(15)は「地域の伝統行事が途絶えないよう、若い世代が興味を持ててもらい」と話している。

中学生が呼び掛けて復活させた祭りなんだね



14日付、山陽新聞朝刊東備版

★の数は問題の難易度を表しています。

Q1 ★★★★★

高陽中の生徒はなぜ、盆踊り会のPR動画を作ろうと思ったのでしょうか。第1段落（リード）に注目して答えましょう。

Q2 ★★★★★

動画はドラマ仕立てになっています。第3段落を参考に、ストーリーを説明しましょう。

Q3 ★★★★★

あなたの住む地域の伝統行事について、若い世代が興味を持つようなPR方法を考えましょう。

さんデジで 新聞を学ぼう！

